

**樺太時代の文化遺産の保存・修復支援のため  
専門家を南サハリンに派遣します**

国際交流基金(ジャパンファウンデーション)は、南サハリンに残る樺太時代の歴史的建造物保存・修復事業支援のため、在ユジノサハリンスク日本総領事館の協力の下、日本の専門家2名をサハリンに派遣します。

1905年から45年にかけて日本による統治が敷かれていたサハリン南部には、当時の神社、工場、住宅、庁舎などが多く残っていますが、郷土史博物館(旧樺太庁博物館)や州立美術館(旧北海道拓殖銀行豊原支店)他少数の例を除き、保存・整備がなされないまま放置され、老朽化が進んでいます。

サハリン州から「歴史的文化遺産保護活動の一環として、これらの史跡の保存・修復に取り組むにあたり、日本の力を借りたい」との呼びかけを受けて実施するものです。日露共同で現地調査を行うとともに、合同シンポジウムを開催し、これまでの研究・調査に基づく基礎データや課題を共有することを目指します。

これらの文化遺産を積極的に保護・活用すべき「プラスの資産」であるとの認識を日露が共に深め、今後の保存・修復における協力体制を築く第一歩となることが期待されます。

**【 日本からの派遣専門家 】**

**角 幸博** かど ゆきひろ 北海道大学大学院工学研究科(建築都市空間デザイン)教授  
**井瀧 裕** いたたけ ひろし 北海道大学スラブ研究センター COE 共同研究員

**【 日程 】**

11月6日(木): 在ユジノサハリンスク日本総領事館・サハリン州共催シンポジウム  
(於 サハリン州立美術館/ユジノサハリンスク市)

11月7日(金): ユジノサハリンスク市内及び近郊所在史跡現地調査  
・サハリン海洋地質学・地球物理学研究所(旧樺太庁中央試験所)  
・サハリン州軍事裁判所(旧樺太守備隊司令官官舎)など

貴紙・誌にてお取り上げくださいますようお願いいたします。

**お問い合わせ**

文化事業部 文化企画課 (担当) 大内 桃子  
TEL:(03)5369-6059 FAX:(03)5369-6036  
E-mail: [Momoko.Ouchi@jpf.go.jp](mailto:Momoko.Ouchi@jpf.go.jp)